

## 主日礼拝

2023年1月1日  
午前10時30分

前奏 「古き年は過ぎ去れり」 (J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」

コリント II 5:17※(讃美歌 21-26)

## 頌栄 26「グロリア」



## 元旦のリタニー

司式者：神さま、一年の最初の日に

会衆：神さまを、賛美します。

司式者：わたしたちが、歩いて行く道を

会衆：神さま、照らしてください。

司式者：みんなが、笑顔で過ごせるよう、

会衆：神さま、助けてください。

司式者：みんなで助け合って、ひとりひとりを大切に出来るよう

会衆：神さま、守ってください。

司式者：1年間、神さまとともに歩みます。

一緒に：神さま、今年もわたしたちと一緒にいてください。アーメン。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは み名をあげめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。

アーメン。

## 聖書 ルカによる福音書 2:21~40

新約(新共同訳) p103~p104

21 八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。

22 さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。 23 それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。 24 また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがい、家鳩の雛二羽をいけにえとして献げるためであった。

25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。

26 そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。 27 シメオンが“霊”に導かれて神殿の境内に入って来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。 28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。

29 「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり

この僕を安らかに去らせてくださいます。

30 わたしはこの目であなたの救いを見たからです。

31 これは万民のために整えてくださった救いで、

32 異邦人を照らす啓示の光、

あなたの民イスラエルの誉れです。」

33 父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。 34 シメオンは彼らを祝福し、母親のマリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。 35 ——あなた自身も剣で心を刺し貫かれます——多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。」

36 また、アシェル族のファヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。非常に年をとって、若いとき嫁いでから七年間夫と共に暮らしたが、 37 夫に死に別れ、八十四歳になっていた。彼女は神殿を離れず、断食したり祈ったりして、夜も昼も神に仕えていたが、 38 そのとき、近づいて来て神を賛美し、エルサレムの救いを待ち望んでいる人々皆に幼子のことを話した。

39 親子は主の律法で定められたことをみな終えたので、自分たちの町であるガリラヤのナザレに帰った。

40 幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。

# 賛美 268-1,3,4 「朝日は昇りて」

CHRISTMAS DAY  
 詞：「讃美歌」1881 曲：奥原忠五郎，1898-1986

あさひはのぼりて世をてらせり、  
 くらきにすむひと、きたりあおげ。  
 ちえにとみたる主世にいでたり、  
 この世のさとりもむなしきもの。

- 1 朝日は昇りて 世を照らせり、  
 暗さに住むひと、来たりあおげ。  
 知恵に富みたる主 世にいでたり、  
 この世の悟りも むなしきもの。
- 2 力に満つる主 世にのぞめり、  
 かよわき人びと 来たりたのめ。  
 平安を賜う主 世にくだれり、  
 苦しめる人は 来たり受けよ。
- 3 怒め賜う主 世に生まれぬ、  
 憂いあるひとは 来たり告げよ。  
 生命を賜う主 世に来たり、  
 罪に死ぬる身も 来たり生きよ。
- 4 救いを賜う主 世に來ませり、  
 すべての人びと 来たり祝え。  
 天地のあるじ 世にあらわる、  
 造られしものは 動かうたえ。

# 説教 「腕に抱かれた幼子イエス」

# 賛美 469-1,2,3 「善き力にわれかこまれ」

Von guten Mächten treu und still umgeben  
 詞：Dietrich Bonhoeffer, 1906-1945 曲：Otto Abel, 1905-1977

よすたかよ きぎとがき ちたいやち かひ主かか らびかせら にのらよに わなぎ主ま れやしのも かみだたら こおさまれ まもれしつ れくるびつ、  
 まなさわき もお、かれた りのずらる なしきのべ ぐかはやき さかにみと めるがのき らとくなを れきてかま て、も、に。と。  
 世さおのよ のわそぞも なぎれみあ やたず、をさ みつか主も とこんのい もこし手つ にろをにも わしこゆか かずめだみ ち、め、ね、は  
 あみあきわ たむいたれ らねするら しにるへと いし手きと いたかあも をがらさに のいうをい ぞゆけまま もう。よう。と。す。

- 1 善き力に われかこまれ、  
 守りなくさめられて、  
 世の悩み 共にわかれ、  
 新しい日を望もう。
- 2 過ぎた日々の 悩み重く  
 なお、のしかかるときも、  
 さわぎ立つ 心しずめ、  
 みむねにしたがいゆく。
- 3 たとい主から 差し出される  
 杯は苦くても、  
 恐れず、感謝をこめて、  
 愛する手から受けよう。

# 聖餐式

# 賛美 469-4,5 「善き力にわれかこまれ」

Von guten Mächten treu und still umgeben  
 詞：Dietrich Bonhoeffer, 1906-1945 曲：Otto Abel, 1905-1977

よすたかよ きぎとがき ちたいやち かひ主かか らびかせら にのらよに わなぎ主ま れやしのも かみだたら こおさまれ まもれしつ れくるびつ、  
 まなさわき もお、かれた りのずらる なしきのべ ぐかはやき さかにみと めるがのき らとくなを れきてかま て、も、に。と。  
 世さおのよ のわそぞも なぎれみあ やたず、をさ みつか主も とこんのい もこし手つ にろをにも わしこゆか かずめだみ ち、め、ね、は  
 あみあきわ たむいたれ らねするら しにるへと いし手きと いたかあも をがらさに のいうをい ぞゆけまま もう。よう。と。す。

- 4 輝かせよ、主のともし火、  
 われらの闇の中に。  
 望みを主の手にゆだね、  
 来たるべき朝を待とう。
- 5 善き力に 守られつつ、  
 来たるべき時を待とう。  
 夜も朝もいつも神は  
 われらと共にいます。

# 派遣

司式者 主は言われます。  
 「わたしは誰を遣わすべきか。」  
 会衆 わたしがここにおります。  
 わたしを遣わして下さい。

# 祝祷

# アーメン

アーメン アーメン アーメン

# 後奏 「プレリュード 八短調」

(E.F.リヒター)

司式 向井 希夫牧師  
 説教 向井 希夫牧師  
 奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、  
 座ったままで礼拝をお守り下さい。  
 ※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

◇新型コロナ感染予防の為に、牧師が代表して与っていた  
 聖餐を全員で与るかたちに戻します。みなさんと聖餐の恵  
 をわかちあいましょう。